

## 【第1分科会】北広島町立八重東小学校

### 『本に親しみ 主体的に調べ学ぶ児童の育成』

提案者 北広島町立八重東小学校

#### I はじめに

本校では、学校図書館教育の充実を通して、「主体的・対話的で深い学び」が実現されることをめざした研究実践を行ってきた。具体的な取組として、平成26年2月に広島県教育委員会が策定した「広島県子供の読書活動推進計画（第三次）」をもとに、「本に親しむこと」「たくさん読むこと」「目的に応じて読むこと」「本から学び自らの考えを深めること」という4つの柱と、それらを支える「環境の整備」の柱を中心に図書館教育の推進を行っている。研究主題を「本に親しみ 主体的に調べ学ぶ児童の育成～読書活動と図書館機能を取り入れた授業づくりを通して～」とし、図書館の3つの機能（読書センター・学習センター・情報センター）の充実と図書館機能を取り入れた授業づくりをめざして、研究実践を進めることとした。本校での図書館教育の推進について報告する。

#### II 取組の概要

- (1) 八重東型授業モデルに基づく主体的な学び
  - ・導入の工夫、小集団学習、まとめと振り返りの充実
  - ・授業モデルの提示、話し合いモデルの提示
- (2) 「読書センター」「学習・情報センター」としての機能を生かした授業づくり
  - ・図書館機能（学習・情報センター）を活用した単元構成・授業づくりの工夫
  - ・情報収集・活用・分類、学びを深める話し合い方等、児童の学習スキルを高める工夫
  - ・国語科の授業における並行読書の取組
  - ・図書館が「読書センター」「学習・情報センター」としての機能するための環境整備
- (3) 読書活動の充実の工夫
  - ・地域ボランティア・教員・委員会等による多様な読み聞かせ
  - ・八重東小学校読書百選の選定と目標達成の取組
  - ・年間を通した読書貯金カードの取組
  - ・児童会委員会活動による読書推進の工夫（集会と図書の貸し出しの工夫等）

#### III 提案のポイントとなる内容、協議したい内容

取組の中で、次の2点を中心にして、協議・実践交流をお願いしたい。

- ・「読書センター」「学習・情報センター」としての機能を生かした授業づくり
- ・読書活動の充実のための工夫

#### IV 成果・課題

- ・「本を読むことが好き」と答える児童が全体の8割以上であり、図書室の利用も増加している。読書貯金冊数の平均は6月末で一人当たり84冊であり、「本に親しむ児童」の育成が図られている。
- ・児童アンケートの「授業に関係ある資料を進んで使うことができましたか。」に対する肯定的評価は児童全体の8割以上であり、授業内容に関係のある本を進んで選ぶ姿が多く見られるようになっている。教職員アンケートの「資料を選択したり情報を比較・分類・精査したりする学習活動や、情報をもとに自分の考えを話し合う学習活動を仕組むことができたか。」に対しても、全員が肯定的評価をしており、図書館機能を活用した授業づくりへの意識が高まったといえる。これらの回答結果から、本校がめざす「主体的に調べ、学ぶ」姿の一つである「課題解決に必要な情報を図書や資料を活用して調べる姿」が児童に育成されてきているといえる。
- ・全体的に読書活動は充実してきているが、読書の習慣化・質に個人差があることが課題として挙げられる。調べ学習については、図書を活用することは充実してきたが、目的に応じて図書を選択したり資料を比較・分類して課題解決をしていく力をつけたりすることについては、今後も継続した取組をしていく必要がある。

#### V おわりに

読書に親しみ主体的に調べ学ぶ児童の育成のために図書館環境をさらに整える。また、今後も継続して図書館の3つの機能を活用した、主体的な学びを生み出す授業づくりについて研究実践していく。